



忠義臣録第三 大行神社所蔵



# 史実・赤穂事件に迫る！

## 「義」を貫いた者たちの真実



浅野内匠家目上(部分) 赤穂市歴史博物館所蔵

歴史手習塾  
HISTORY SEMINAR  
seminar23



仮名手本忠臣蔵十一段目(豊国) 大行神社所蔵

2016. 11. 27 日曜日 13:00開場 13:30開講

好評発売中

会場 龍潭寺 〒522-0007 滋賀県彦根市古沢町 1104

料金 一般1,200円 ※全席自由

定員 100名 ※定員に達し次第受付を終了させていただきます。  
お申込みされていない場合は当日ご来場いただきましてもご入場いただけません。予めご了承ください。

主催：NPO 法人ひこね文化デザインフォーラム(歴史手習塾プロジェクト)

後援：彦根市 / 彦根市教育委員会 / 彦根商工会議所 / 彦根商店街連盟 / 公益社団法人 彦根観光協会

助成：平成 28 年度文化庁文化芸術振興費補助金



## 歴史手習塾 seminar23

# 史実・赤穂事件に迫る！～「義」を貫いた者たちの真実～

忠臣蔵で知られる「赤穂事件」。

「仇討ちの成功」を世間では元禄泰平の世の快挙と持てはやし、

一連の「忠臣蔵」物語が作られていく過程であたかもそれが事実のように語り継がれるようになりました。

しかし、真実の赤穂事件は、「忠臣蔵」とはかけ離れた史実、赤穂旧臣たちの思い、江戸時代の社会的慣習があったのです。

江戸城内での刃傷事件を発端とした物語は、赤穂藩旧臣による仇討ちと切腹で事件の幕を閉じました。

この物語を読み解いていくと浪人となった赤穂旧臣たちが権力者である幕府に向かっていく戦い、という側面が浮かび上がります。

その戦いはいかにして進められたのでしょうか。

また、「仇討ち」までの間の赤穂の旧臣たちの揺れる思い、それを束ねた大石内蔵助にはどのような戦略があったのでしょうか？

「忠臣蔵」として庶民に人気の物語となった「赤穂事件」が後世に残したものは何でしょうか？

講師・山本博文先生の近著や、山本先生が集めた浪士たちの肉声に近い史料により、

「忠臣蔵」ではない「赤穂事件」の真実に迫ります。



### 講師：山本 博文氏

昭和32年、岡山県生まれ。東京大学文学部国史学科卒。同大学院修了。文学博士。東京大学史料編纂所教授。専門は日本近世史。平成4年、「江戸お留守居役の日記」により第40回日本エッセイスト・クラブ賞を受賞。『武士道の名著』『赤穂事件と四十六士』『歴史をつかむ技法』『東大流よみなおし日本史講義』『大江戸御家相続』『格差と序列の日本史』『流れをつかむ日本の歴史』など著書多数。200万部超のベストセラー『角川まんが学習シリーズ日本の歴史』の全巻監修を担当。NHK・Eテレの「知恵泉」、「ラジオ深夜便」など、テレビ・ラジオの出演も多数。映画やテレビの時代劇の時代考証も担当している。

### 会場 龍潭寺

臨済宗妙心寺派の名刹。天平5年(734年)行基菩薩により遠州国井伊谷郷に開基。慶長5年(1600年)井伊直政公が佐和山城主になったのを機に、佐和山麓に移建開山した井伊家との縁の深い寺院である。境内には、赤穂旧臣が仇討ちの参考にしたともいわれる「浄瑠璃坂の仇討ち」の首謀者であり、その後彦根藩士となった奥平源平の墓所がある。

### お問い合わせ

#### ◆NPO 法人ひこね文化デザインフォーラム

〒522-0063 滋賀県彦根市中央町7-47 Kビル3階 / FAX.0749-27-6880



**0749-23-3383**



**mail@hcdf.jp**

※お問い合わせ時間 平日 8:30～17:15



### プレイガイド

#### ■窓口でのご購入

- ◆ビバシティ平和堂くらしのサービスセンター
  - ◆アル・プラザ彦根くらしのサービスセンター
  - ◆ひこね市文化プラザチケットセンター
- 0749-27-5200**

#### ■メールでのお申し込み

- ◆NPO 法人ひこね文化デザインフォーラム

→ **tenaraijuku@hcdf.jp**

- ①申込講座名 ②申込者(氏名 / ご住所 / 電話番号)
- ③申込人数を明記下さい

### 会場アクセス

会場：龍潭寺 〒522-0007 滋賀県彦根市古沢町1104

- 彦根駅から徒歩20分(タクシーで5分) ●駐車場あり
  - 「彦根ご城下巡回バス」で龍潭寺下車、徒歩3分
- 彦根駅 12:00→龍潭寺 12:08 のバスがございます。